

## 技術研究所の活動状況



専務取締役  
技術研究所長 三本木 貢治

当技術研究所は昭和44年5月に千葉施設の開所式を行い、内外各位に御披露申し上げて以来早くも10年を経過いたしました。その間、関係各位の御理解と御援助によって、順調な発展を遂げてまいりました。今回、開所10周年を迎えるにあたりまして川崎製鉄技報特集号を刊行して、当技術研究所の活動状況の一端を紹介し、さらに今後の発展について御理解と御援助をお願い申し上げます。

（技術研究所は、本誌に寄附して研発部との二本柱であったものを 昭

研究員の職制としては主任研究員制度を導入しております。主任研究員は

主任研究員、主任研究員、主任研究員、主任研究員、主任研究員の職位に相当する研究員に与え

る職制で、独立した単元の研究を遂行する責務を負っており、設立当初より円滑に運営されております。各研究室には室長を配し、複数研究室を次長が統括して、所長、副所長を補佐する制度をとっております。

開設当時は、千葉地区における研究施設を収容する敷地面積45 000m<sup>2</sup>、研

究施設面積27 744m<sup>2</sup>でしたが、昭和54年3月現在